

令和6年度 校長より ⑭

鎌倉湘南地区の県立高校生たちが大船高校会議室に集合し、一人ひとりから報告が行われました。11月15日（金）に、インターンシップ報告発表会が実施されました。今夏に職業体験に参加した地区の学校数は14校（14課程）、体験生徒数は延べ486名でしたが、その代表生徒13名から各事業所での体験内容や実施した感想などについての報告が発表され、受入れた事業所から取組への講評をいただきました。緊張により声を詰まらせる高校生もありましたが、心温まる事業所からのコメントに自己肯定感を高めている様子でした。高校時代の原体験は自分の職業意識への一生の礎になるものです。高校生たちには、今回の経験を今後の自分の人生に直接役立ててほしいと思います。各事業所の皆様、この度は高校生たちの受入れと対応にご協力いただき誠に有難うございました。

制服に身を包んだ中学生たちが保護者と共に次々と正門から入ってきました。11月16日（土）は、学校見学会が実施されました。同日は県内公立私立高校で同様の取組が多数行われていましたが、本校には900名以上の方々にご来校をいただきました。既に中学校では調査書の内申点が確定し3者面談が始まる時期となりましたので、中学生も保護者も現実的な意識を持ってのご参加が多かったことと思います。HPなどを改めてご確認ください中で本校の魅力や特色、方向性などをしっかりとご理解いただき、ご納得いただいた上で本校への受検を決定していただきたいと思ひます。入れる学校ではなく入りたい学校選びにより、本校を第一希望と認めていただける受検生を心よりお待ちしております。

高校生の参加は初めてのことで、11月23日（土）に、湘南アイパークにおいて「新湘南ウェルビーイングフェスタ2024」が開催され、本校生徒会執行部の生徒たちが藤沢清流高校の生徒たちと共に、「鎌倉・藤沢の高校生が考え、共に創る10年後の地域のウェルビーイング」をテーマとしたワークショップを行いました。本校からはリアルとバーチャルの2つのコミュニケーションを有効活用した街づくりについて、また、藤沢清流高校からは子育ての視点からの街づくりについて発表がされ、その後、4グループに分かれて地域の方々と膝を突き合わせながら意見交換を行い、最後に参加者全員で意見をシェアしました。自分たちの考えをまとめて地域の方々に発信できたことや、世代の異なる方々と未来を語れたことは、高校生たちにとってとても貴重で豊かな経験になったことと思ひます。今後も高校生たちが校外に出向いて活躍したり、本校の教育活動を地域の方々にご理解いただけたりする機会を創ってまいりたいと思ひます。

令和6年11月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆